

建設の機械化

2000.1

No.599



特集 情報化施工技術

- ◆巻頭言 西暦 2000 年の新春を迎えて……………長尾 満 1
情報化施工の促進に向けて……………喜安和秀・水野宏治 3
情報化施工を支える先端技術
……………神崎 正・堀田明男・西澤修一・松本三千緒 5
情報化施工の実証実験……………成田秀志・小室日出男 12

グラビヤ 情報化施工の実証実験

- 「動画像現場監理システム」による建設 CALS の取組み
……………北舎和彦 18
超大型油圧ショベルのモニタシステム
……………田中康雄・柳生 隆・樽沼 透 24
地下工事の無線情報伝送システム
—作業性、安全性に役立つモバイルシステム—
……………横田依早弥・平井淳一・青野 隆 29
◆ずいそう 道楽……………武内 等 34
◆ずいそう 欧州河川・防災視察での見聞……………伊藤正博 36
◆新工法 01-04 盛土施工管理システム（東急建設）/01-05 遠隔操縦ブルドーザ
の排土板制御支援システム（熊谷組）/04-193 大容量自動搬送システム STV-9
（鹿島建設）/04-194 ハーフ PCa 版を用いたトンネル覆工（大成建設）/11-62
WISE システム—無線式沈下計測—（五洋建設・計測リサーチコンサルタント）
……………調査部会 38
◆新機種紹介……………調査部会 43

JCMA

目 次



◆文献調査	高圧ウォータージェット/6マイル・クリーク工事の排水暗渠設置におけるヨーロッパの先進技術/第21回世界道路会議—騒音調査車両/ハイテクハイウェイ	文献調査委員会	46
◆整備技術	建設機械の作動油清浄度管理について(2)	整備技術委員会	52
◆建設機械化研究所抄報	(160)		59
◆統計	建設関連統計/ 建設工事受注額・建設機械受注額の推移	調査部会	62
行事一覧			64
編集後記		(喜安・中桐・大津賀)	68

◇表紙写真説明◇

凍結防止剤散布車
JS 80型 ホッパ蓋自動開閉装置付き
TCM 株式会社

本機は、主として寒冷地における道路の凍結防止に、融雪に使用される自走式の凍結防止剤散布車(8.0 m³級)で、薬剤ホッパ蓋を油圧自動開閉式としたものである。

薬剤は車速に同調して指定量を均一に散布することが可能で、構造・使用材料は防錆対策を考慮したものとなっている。また、車両・ホッパは低重心構造で、適当な軸荷重配分により雪道悪路の走行安定性を確保している。散布量、散布幅などの指定操作は全て運転室から可能で、ワンマン運転ができる。

なお、オプション装備の追加によりホッパを薬液散布や散水の作業に使用することも可能で、ホッパへの薬剤袋積上げ装置の取付けもできる。

<本機の主な仕様>

ホッパ容量	8.0 m ³
散布量(切換え式)	20, 30, 40, 50, 70 g/m ²
散布幅(切換え式)	3, 4, 5, 7, 9 m
作業速度	5~50 km/h
車両総質量	15,100 kg
機関出力	239 kW (325 ps)/2,300 rpm
最小回転半径(最外輪中心)	6.4 m
作業装置形式	車速同調・散布量自動制御式
ホッパ構造	一体構造密閉式
薬剤引出・計量方法	スクリュウフィーダ・メタリングロータ式
乗車定員	2人
全長	7,400 mm
全幅	2,490 mm
全高	3,170 mm